

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09040060

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 平成20年度～ 事業費：320千円 計画内容：街灯補助 平成28年度～ 事業費：200千円 計画内容：街灯補助
基本施策	4	商工業の振興	事業優先度	B		
単位施策	3	町民を支える商店街づくりへの支援	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	大通り商店街協同組合街灯費補助事業					
事業期間	平成25年度～平成29年度					
事業主体	雄武町					
事業指標	組合の安定運営					
事業目標	1組合					
住民参加	無					
住民協働	無					
			見直し年度			
			担当課	9	産業振興課	
			関係課		#N/A	
			ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
			関係例規・法令名			
			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	大通り商店街協同組合に対する街灯費補助	大通り商店街協同組合が行う事業に対する補助 ・街灯費補助	大通り商店街協同組合が行う事業に対する補助 ・街灯費補助	大通り商店街協同組合が行う事業に対する補助 ・街灯費補助	大通り商店街協同組合が行う事業に対する補助 ・街灯費補助 ・街灯LED化補助	大通り商店街協同組合が行う事業に対する補助 ・街灯費補助
	事業費(千円)	4,050	320	320	320	2,890
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	4,050	320	320	320	2,890	200
実 績 事 業 費	事業費(千円)	1,010	320	320	370	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	1,010	320	320	370		
関 連 事 項	特定財源の名称					
	【評価・実績】	(実施内容等) 大通り商店街協同組合が行う事業に対する補助(街灯費補助)	(実施内容等) 大通り商店街協同組合が行う事業に対する補助(街灯費補助)	(実施内容等) 大通り商店街協同組合が行う事業に対する補助(街灯費補助)	(実施内容等)	(実施内容等)
		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/拡充	※事務事業評価結果 A-継続/拡充	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 1組合	1組合	1組合	1組合	1組合
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率 100%	100%	116%	0%	0%
	全体達成率 8%	16%	25%	25%	25%	
	備考欄					

事業名	大通り商店街協同組合街灯費補助事業	評価者	管理職 職氏名	産業振興課長	横田和幸
		評価者	作成者 職氏名	商工観光係	中西巖太

様式1  
平成27年度実施  
平成28年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町大通り商店街協同組合	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	組合数	
【抱える課題やニーズは】	組合員の減少(廃業等)、組織体制の強化	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	空き店舗の活用等により、商店街の活性化を図る。	① 組合数	目標年度	平成27年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	商店街活性化による組合員数増(組織強化)		目標値	1組合
			実績値	1組合
			達成度	100.0%
		②	目標年度	平成27年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	街灯電気料の補助	大通り商店街協同組合に対する街灯電気料金の補助		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	本来は自助努力により街灯費の負担を行うべきであるが、組合維持運営に係る経費増から困難であり、夜間の防犯上、商店街の集客上、公共性の高いものと判断されることから、町による補助が必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	これまでに商店街での犯罪が少ないこと、限られた予算においてサンバロットまつりの開催や冬期イルミネーションの設置による街並み装飾・植栽等の活動を行っていることを鑑み、有効と判断する。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	街灯料金に対する補助であることから、過剰なコストが発生する余地は無いが、昨今の電気料金値上げも踏まえ、将来的には省エネ街灯(LED)導入によるランニングコスト抑制について検討を要する。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	各自治会への街灯電気代補助に準じたものであり、公共性の高い場所であることから、公平と判断する。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
公共性の高い場所にある街灯の料金補助であり、夜間の防犯、商店街の集客に対して効果がある。		

今後の展開方向  
(Action)

継続/拡充		
対象が公共性の高い場所であることから、現行の措置を継続する必要があるが、電気料金の値上げも踏まえ、LED街灯への転換等による節電対策に向けた支援を行う。		

※展開方向の区分  
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
○終了 ○休止 ○廃止